

# News Release

株式会社山陰合同銀行

〒690-0062 鳥根県松江市魚町 10  
TEL.0852-55-1000  
<https://www.gogin.co.jp>

2024年2月6日

## 「脱炭素経営の取組み状況等に関するアンケート調査」について

ごうぎんは、TCFD提言に賛同し、気候変動がお客様や当行に及ぼすリスクと機会を把握・評価しながら、脱炭素社会の実現に貢献していくことを表明しています。これに関連した取組みとして、主要なお取引先の脱炭素経営に対する考え方や排出量削減に向けた取組み状況等を把握することを目的に、「脱炭素経営の取組み状況等に関するアンケート調査」を2023年10月に実施しましたので、その結果概要についてお知らせいたします。

### 【調査結果概要】

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 脱炭素経営に関する基本的な考え方          | <ul style="list-style-type: none"><li>・回答企業の約7割が「脱炭素経営の取組みによって企業価値が向上する」ことに肯定的</li><li>・多くの企業が脱炭素経営の必要性を認識しているが、取組みの実施に対しては受働的・先送りの姿勢が大勢</li><li>・脱炭素化の取組みを進めていく上での課題としては、「どのレベルまで対応が必要なのか分からない」や「コストに見合う効果が見込めない、またはコストを価格転嫁できない」と回答した企業が多い</li></ul> |
| 脱炭素の取組みの実施状況（または検討予定等の状況） | <ul style="list-style-type: none"><li>・温室効果ガスの排出抑制に向けた取組みについて「既に取り組んでいる」とする企業の割合は、特に山陰において増加傾向</li><li>・取組みや検討を開始した理由、動機としては、「自社のイメージやブランド力が向上すると考えられるから」や「地球温暖化対策に有効だから」が多い</li></ul>   |
| 温室効果ガス排出量の把握状況            | <ul style="list-style-type: none"><li>・自社のサプライチェーン排出量（特にSCOPE 1 排出量）を把握する企業の割合が増加傾向（2021年比）</li></ul>  |
| 脱炭素に関する具体的な取組み内容（設備関連）    | <ul style="list-style-type: none"><li>・既に導入済みの取組みとしては、「太陽光発電（自家発電またはP P A）」や「建物の空調負荷低減化」、「次世代自動車の導入」が中心</li></ul>  |

結果概要の詳細については、当行HP（URL：<https://www.gogin.co.jp/economy/>）をご覧ください。

以上